

第一級陸上無線技術士

無線従事者国家試験及び免許規則第21条による学校等の認定基準により、九州大学工学部電気情報工学科の卒業生であって、次表に示す科目を履修し、その単位を修得している者は第一級陸上無線技術士資格試験の中「無線工学の基礎」の試験が免除される。

免許を希望する学生が履修しなければならない科目並びに時間及び単位

認定基準に規定する科目		科目並びに時間(単位)	備考	
基礎専門教育科目	数 学	数学 A	30 (2)	左の科目のうちから210時間以上履修すること。
		数学 B	30 (2)	
		数学 A	30 (2)	
		積分論の基礎	30 (2)	
		関数解析の基礎	30 (2)	
		抽象代数学の基礎	30 (2)	
		応用確率論	30 (2)	
		離散数学	30 (2)	
		基礎数学演習第一	30 (1)	
		基礎数学演習第二	30 (1)	
		数学演習	30 (1)	
		線形代数	60 (3)	
		微分積分	60 (3)	
		微分積分	30 (2)	
		計 14 科目	480 (27)	
科目	物 理	力学	30 (2)	左の科目のうちから105時間以上履修すること。
		力学基礎	30 (2)	
		熱と波動論基礎	30 (2)	
		現代物理学入門	30 (2)	
		力学基礎演習	30 (1)	
		物理学基礎実験	60 (2)	
		計 6 科目	210 (11)	

(注) は基礎科学科目。

平成8年4月に入学し、平成12年3月に卒業する者から適用。

認定基準に規定する科目		科目並びに時間(単位)		備考
基礎	電磁気学	基礎電磁気学	30 (2)	左の全科目を履修すること。
		基礎電磁気学	30 (2)	
		電磁気学	30 (2)	
		電磁気学演習	30 (1)	
		波動情報工学第一	30 (2)	
	計 5 科目	150 (9)		
専門	半導体及び電子管並びに電子回路の基礎	電子回路第一	30 (2)	左の科目のうちから90時間以上履修すること。
		電子回路第二	30 (2)	
		パルス・デジタル回路	30 (2)	
		電子デバイス工学第一	30 (2)	
		集積回路工学	30 (2)	
	計 5 科目	150 (10)		
教育	電気回路	基礎回路理論	30 (2)	左の全科目を履修すること。
		基礎回路理論	30 (2)	
		基礎回路理論	30 (2)	
		情報伝送工学	30 (2)	
			計 4 科目	
科目	電気磁気測定	計測工学第一	30 (2)	左の科目のうちから180時間以上履修すること。
		計測工学第二	30 (2)	
		電気系基礎実験第一	90 (2)	
		電気系基礎実験第二	90 (2)	
			計 4 科目	
	計	3 8 科目	1350 (73)	
専門教育科目	法規	通信法規	30 (2)	
	無線工学 A	通信システム	30 (2)	
	無線工学 B	波動情報学第二	30 (2)	
	計		3 科目	90 (6)